

# 絶縁体基 産総研

△研究部門グループ長らは、グラフェンと絶縁体の酸化シリコン基板の相互作用を詳細に調べ、特定の電子構造を持つ酸化シリコン上にグラフェンが非常に強く吸着される

粘着テープではがし、酸化シリコン表面上に転写する手法。単層グラフェンが酸化シリコン上に生成されるこの機構はこれまで明らかになっていなかったが、今回この機構

## 細胞核内 自己 端を解明し た。自己免疫 疾患の原因と なる免疫細胞 の過剰な生成を抑えるた め、細胞核内にあるPD LIM2が関わることを

# 砂利と粘土質粒子に分け 放射能汚染土壌を除染

が  
ど  
な  
ま  
大  
ス  
シ  
ン

【名古屋】名古屋大学工学研究科の椿淳一郎教授と海和工業(岡山市南区)の山田克彦社長らのグループは、放射能汚染土壌を大量に除染できる処理システムを開発した。

土壌を砂利と粘土質粒子に分けて洗浄や濃縮することで、汚染土壌を10分の1以下に減容する。福島医療生活協同組合(福島市)などの協力を仰ぎながら福島県などでの実用化を目指す。開発したシステムは振動ふるい機やろ過装置などで構成される。土壌をふるい分けしながら、砂利表面の放射性セシウムを洗浄する。粘土質粒子はイオン交換でセシウムを吸着しているため、粒子を含む泥水はろ過装置で濃縮して地中に埋め

土質粒子のみの重量は、粘土質粒子と砂利を合わせた重量の10分の1以下になった。

2012年2月をめどに1日の処理能力が5トンの実用機を製造する計画。価格は発電機を除き500万~600万円程度の見込み。システム全体をワゴン車や小型トラックに積載して移動できる。

# 結晶薬剤の製造効率化 革新技術開発プロ始動

英国大学

す革新的のインテリジエントな結晶化製品製造システムの開発を主な目的とする。

医薬品産業だけでなく多くの産業で結晶化製品が使われ、重要度が増している。



英国ラフバラ大学化学工学部(ラフバラ市)のZ・ナジ博士ら研究チームは、結晶品製造が多くの部分を占める医薬品産業向けに、結晶薬剤の製造効率や品質改善、省エネ、廃棄物削減などを目的とした革新技術開発プロジェクト「CrystalS」に着手した。絶えず変化する製造条件に迅速に対応でき、一貫して良質の結晶品の製造を実現

# 東大が仕組み解明

## 化学エネ↓回転運動

質エネルギー分子たんぽん

東京大学の渡辺力也助教と野地博行教授らは、たんぱく質でできた分子モーターが、化学エネルギーを回転運動に変換する仕組みを解明した。エネルギーの生成過程で大きな力が発生し、回転の方向と角度に応じてエネルギーの基となる物質の合成と分解を制御する。一気に反応せず、徐々に反応環境を整えるのが高効率変換の要因になる。人工物に應用できれば、高効率なエネルギー変換機構の開発につながる可能性がある。細胞内でエネルギーを機械的な動きに変換する

# 科学技術・大学

## 島津貴に石川東大教授



石川東大教授 石川東大教授 石川東大教授

石川東大教授 石川東大教授 石川東大教授

▽石谷太九郎 准教授▽今井逸都 准教授▽木次郎 准教授▽山本洋平 准教授▽横山崇 准教授

▽野本知理 准教授▽山本洋平 准教授▽横山崇 准教授

# 上海交通大との共同研究 千葉大が発表シンポ

「千葉」千葉大学 交通大学 共同シンポ

「千葉」千葉大学 交通大学 共同シンポ